



がっ こう だよ 学 校 便 り

令和8年1月 日

枚方市立平野小学校で検索！

親子読書ほっこり感想文

冬休みの宿題に親子読書を出しました。ご協力ありがとうございました。親子読書シートが教室や廊下の掲示板に掲示されています。保護者のみなさんの感想を紹介します。（ ）は本の名前です。

○久しぶりに一緒に本を読んだので楽しかったです。2人でどのページを誰が読むかを決めながら読むのも楽しかった！「ママと一緒に読む」を選んでくれてありがとう！（サンタさんからのとくべつなおくりもの）

○物語のやさしい感じを共有でき、とても心温まる時間になりました。「もりのとしょかん」のお話を通して、本の楽しさや大切さを知ることができ、親子のふれ合いにつながったと感じました。（森の図書館）

○小さい頃に読み聞かせていた本でしたが、当時は内容が難しくて、理解できていなかった部分もあったようでした。でも今は読み聞かせてくれるようになり、成長を嬉しく思います。子ぎつねと同じように少しずつ学んで自分で判断できるようになれば良いと思います。（手袋を買いに）



○笑える部分が多く、親子で楽しく読めました。子どもが「ここがおもしろい！」と感想を話してくれて、親子で同じ本を楽しめる良い時間になりました。（グレッグのだめ日記）

○小さい頃から読んでいた本を久しぶりに一緒に読むことができ、心がほっこりしました。1人で読めてしまう年齢ですが、こうやって一緒に読む時間もすごく大切だと思いました。（いちばんしあわせなおくりもの）

○普段から学校の授業や音読練習のおかげで読むのがとても上手になっていました。大きくなるにつれ、一緒に本を読むことが少なくなってきたので、お休みの日などを利用して一緒に本を読もうと思いました。（ゆきふるおふろやさん）

○2人並んで読書しましたが、隣で一言も発せず集中して読書している姿に成長を感じました。これからも本を通じて様々なものを身につけてもらいたと思います。（海底2万里）



○思いやりとは相手の立場に立って気持ちを想像できること、そしてそれを相手に伝えること！素直に伝えることは有効な手段！この絵本では様々な場面を読み解いて想像してみるためのいくつかの質問があったり、思いやりを自分のなかでシュミレーションする良い練習になりました。（おもいやりの

絵本）

○世の中には正解が一つではなくいろんな選択肢があることをやさしく教えてくれる本でした。娘も自分が好きな道を選んでどんどん進んでいってほしいと思いました。（あつかったらぬげばいい）

○本から得る情報や感情を大切に、これからもたくさんの本を読み続けてほしいです。また同じ本を読み、感想を言い合いたいと思います。(チーズはどこへ消えた?)

○〇才の弟に読み聞かせるように丁寧に読んでいて感心しました。物語の内容をとらえながら抑揚をつけて読んでいました。(どろんここぶた)

○息子と一緒に読んでみたり、聞いてみたり、一冊の本をこんなに丁寧に読んだのは初めてだったかもしれません。感性が揺さぶられるような心の動き、躍動感をかみしめながら読み進めました。今後も同様の時間を共有していきたいなと感じました。(お父さんのバックドロップ)

○子どものころから大好きなお話が今の時代の子どもにもワクワクを届けてくれるお話です。キキのように強くやさしく、そんな女の子に憧れていた子どものころを思い出しました。(魔女の宅急便)

○以前にも読んだこともあり、知っていましたし、題名が有名なので再び読み返してみました。100万回生きて100万回泣いて……。不思議な展開のなかにもジーンとくるものがあり、ほっこりしました。(100万回生きたねこ)

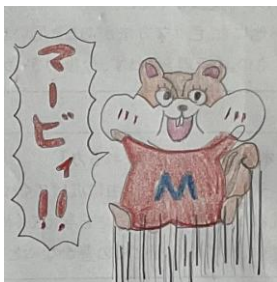


○予想しながら楽しんで読めたと思います。かかし、ブリキ男、ライオンがもともと持っているのに「自分にはない」「自分はダメなんだ」と決めつけてしまっている部分に考えさせられました。難しいことですが、自分を認めることも大切なんだと話し合えました。(オズのまほうつかい)

○一緒に読書タイムが持てて楽しかったです。本の感想を聞いたり、そのことについて話す時間が持てたのも貴重な時間でした。毎晩少しでもこんな時間が持てたらいいのですが……。時々でも持ちたいと思います。(毎日がしあわせになる禅語)

○原爆の落ちた瞬間から今も続く悲慘さが伝わって切る内容で、改めて戦争について考えさせられました。子どもにも考えるきっかけになってほしいと思います。(ヒロシマのピカ)

○大人の決めつけに負けず、自分たちの力で解決しようとする展開が面白かったです。こんな風に自分の意見をしっかり持てる人に育ってほしいと思いました。(チョコレート戦争)



○「学校では教えてくれない大切なこと」シリーズの本は以前から好きで読んでいます。読んだ後「考えるって楽しいな」と思えたり「自分で工夫したりできる本で、どんどん実行してほしいと思いました。(すぐに役立つ一生モノの勉強法)」

避難訓練

1月15日(木)に避難訓練を実施しました。子どもたちは本当に真剣に取り組んでいました。校長からのお話では、31年前に起こった阪神淡路大震災の経験談をお話ししました。電柱から電線が垂れ下がっていたこと、学校の玄関のガラスが割れていたこと、神戸にいた友達が命からがら帰ってきたこと。そして、「生きていてよかった」と話してくれたこと。一番大切なことは自分の命を守ること。そして家族の命を守ることです。ご家庭でも、もしものときにどうするのか、決めておきましょう。また、いつ起こってもいいように防災バッグなどを備えておきましょう。



平野小ブログ
2次元コード